

Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 10

H28 11.17



今月のキーワード

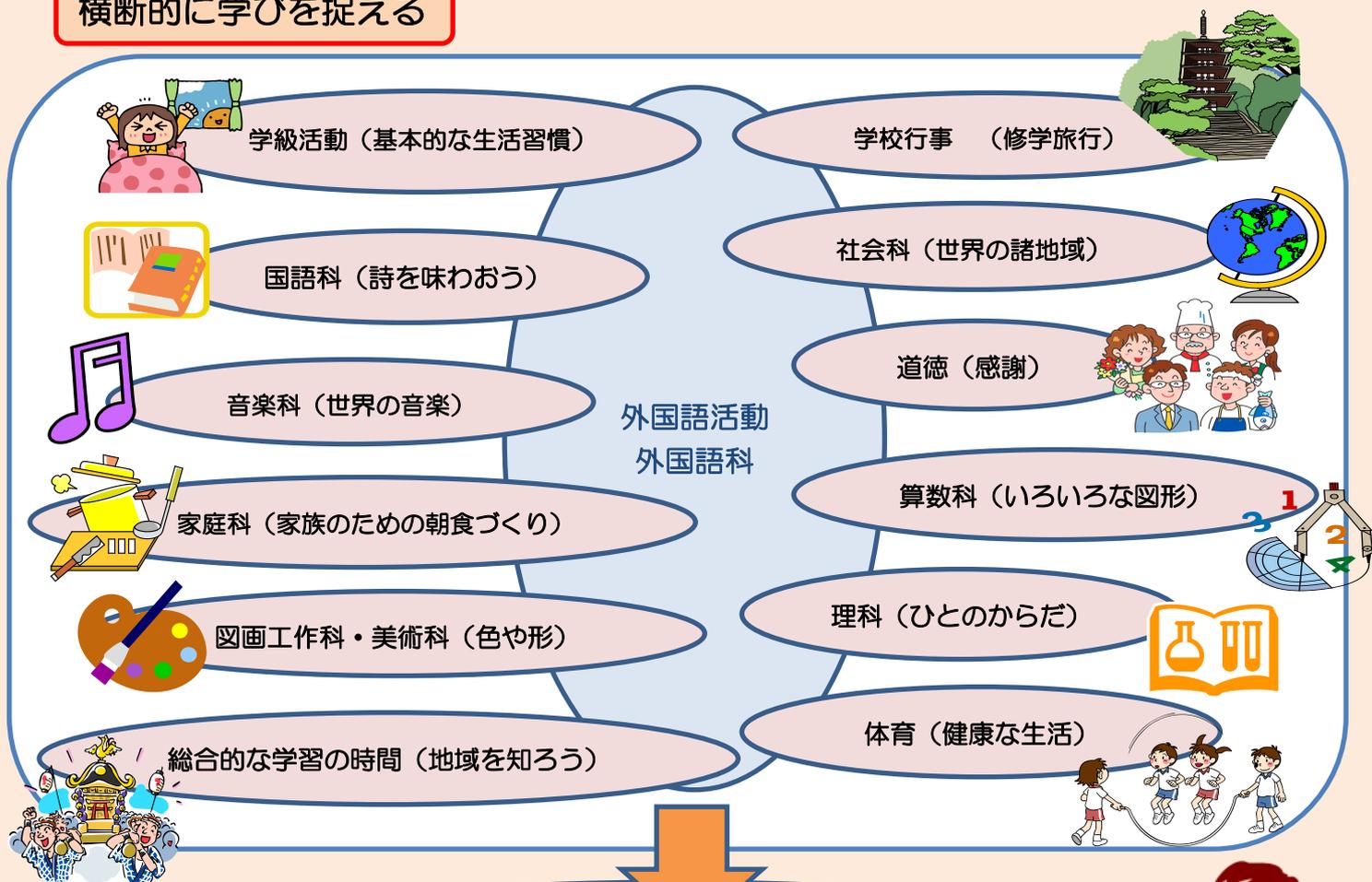
横断的な学び

書く力を高める

11月は各学校で要請訪問やS&U コラボなどが実施され、校内研修が充実しています。先日訪問した石橋北小学校でも、臨海自然教室での体験学習が直接理科の学習（思考する活動）へとつながる場面があり、改めて各教科等横断的に学ぶ素晴らしさを感じたところです。

1つの教科等学習を縦軸、他を横軸とすると、外国語活動や外国語科は、どのように関連しているでしょうか。下記、各教科等との関連を一部図で表してみましたが、楕円が重なる部分では、どのような学びが考えられるでしょうか。児童生徒の興味関心を高め、学習意欲を高める授業を考えていきたいものです。

横断的に学びを捉える



児童生徒が自身の経験を思い出し、「知っている（やったことがある）」→「（英語で）やってみよう」→「できた」→「もっと・・してみよう」という活動の流れになるよう、導入場面で意識付けをしたり、言語活動の内容を関連付けたりしましょう。





書く力を高めるための指導

前回に引き続き、とちぎっ子学習状況調査から、**正答率の幅が大きく開いた問題(その2)**について、考えてみました。

●設問4より

- ・メモの内容に合うように、英文の()に適する英語1語を入れる問題。

I have () brothers.

I () to music after dinner.

I go to a swimming class every ().

- ・3人の兄弟がいること。
- ・夕食後に音楽を聞くこと。
- ・水泳教室に毎週金曜日に通っていること。

○確認したい力 語彙の意味を理解し、正しく英単語を書く。

○考察

- ・小学校では、音声で繰り返し学習した「数字(three)」「動詞(listen)」「曜日(Friday)」。基礎基本となる英単語や熟語の学習方法を再考したい。
- ・Fridayのrとlの間違いも考えられる。解答用紙にlを書いた時に、間違いに気付くためにも、普段から音と文字の結び付きを意識し、書く・話す(聞く)活動を一体化させた指導を考えたい。
- ・授業だけでは「書く」活動の時間は不十分である。家庭学習と関連させた授業づくりを再考したい。

○授業改善の視点 Sunshine English Course 1 教科書 P29(数字)、P35(曜日)が関連ページ

①意図的な「書く」場面の設定

☆授業の始めに英語で日付・曜日・天気等を確認したり、挨拶をしたりする際に、言うだけでなく、書いて(空描きでも)確認してはいかがでしょうか。定着を図りたい時期を見計らって、意図的に書く場面を取り入れましょう。

☆小テストや定期テストで、間違いの多い単語や熟語について把握し、生徒の実態をもとに、授業の中で繰り返し確認する場面を設定しましょう。

②音の指導

☆Three と They の th の音は違います。日本語にはない音は、新出単語を学習する際に、教師が th の音の出し方の模範を示したり、似た単語が出てきた折に比較したりするなど、丁寧な指導を心掛けましょう。





第2回 ゆうがお CAFE



第2回は11月22日(火)17:30~です。
 前回御参加いただいた先生から、「次の日の授業で、さっそく使ってみました」という御報告をいただき、大変嬉しく思いました。英会話を楽しむとともに、授業で即生かせる内容を企画しますので、奮って御参加ください。

文責：学校教育課 稲葉 亜希恵